

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人吉田町社会福祉協議会

目 次

第1	平成29年度事業報告について	P 1
第2	事業の取組について	P 2
1	平成29年度新規・重点目標に対する取組	P 2
2	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施	P 4
3	社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助	P 8
4	社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、 調整及び助成	P 13
5	1から3のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を 図るために必要な事業	P 15
6	保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡	P 16
7	共同募金事業への協力	P 18
8	居宅介護支援事業の経営	P 19
9	老人デイサービス事業の経営	P 19
10	地域包括支援センターの経営	P 20
11	老人居宅介護等事業の経営	P 24
12	障害福祉サービス事業の経営	P 24
13	移動支援事業の経営	P 25
14	地域支援事業の経営	P 25
15	福祉相談事業	P 26
16	善意銀行貸付事業	P 29
17	吉田町老人福祉センター経営	P 29
18	福祉サービス利用援助事業	P 29
19	その他この法人の目的達成のため必要な事業	P 30
20	公益を目的とする事業	P 31

第1 平成29年度事業報告について

改正社会福祉法施行（平成29年4月1日）に伴い、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革が求められ、社会福祉法人の公益的な取り組みを実施することが責務になるなど、平成29年度は、社会福祉法人全体に大きな変化がありました。

社会福祉法人吉田町社会福祉協議会では、改正社会福祉法に即して一部変更した定款に基づき、平成29年度事業を実施しました。

平成29年度は、平成25年度に5年間の計画として策定されていた第2期吉田町地域福祉活動計画の最終年度となることから、事業の実施とともに今後を見据え、事業の見直しを図り、吉田町との協働により第3期地域福祉計画・第3期地域福祉活動計画を策定しました。

また、重点目標であった災害時の備えとして、災害ボランティアセンターの運営マニュアルを整備するほか、広域連携として近隣市町社会福祉協議会と広域連携災害事業を実施、社会福祉法人島田市社会福祉協議会の災害ボランティアセンター立上げ訓練の場で連携を図るなど、実践的な取り組みを実施することができました。

ボランティアセンターの充実では、町内で活発化するサロン及び居場所づくり活動の中で、課題となっていた男性のサロンや居場所への参加を考える講座を実施しました。また、基盤となる町内のボランティア団体の地域活動を支援し連携の強化を図るなど、ニーズに対して着実に取り組み、地域福祉推進に向け事業推進を図りました。

社会福祉法人吉田町社会福祉協議会の事業報告の附属明細書について

社会福祉法第45条の27第2項において、「事業報告」及び「事業報告の附属明細書」は、毎会計年度終了後に作成することが義務付けられています。このうち「事業報告の附属明細書」は、社会福祉法施行規則により『事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。』と規定されています。しかし、その具体的な事項についての定めはありません。

こうしたところから、本会の「事業報告」は、「事業報告の附属明細書」に相当すると考えられる事項も「事業報告」に記載をして作成しております。このため、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は、「事業報告」ですでに記載している事項と重なるため、社会福祉法で規定されている「事業報告の附属明細書」のみの作成はしていません。

第2 事業の取組について

1 平成29年度新規・重点目標に対する取組

(1) 第3期地域福祉活動計画の策定

町との協働により、吉田町地域福祉計画・吉田町地域福祉活動計画策定委員会を設置し、計画期間を5年間とする第3期吉田町地域福祉計画・第3期吉田町地域福祉活動計画を策定しました。

(2) 災害ボランティアセンター設置、整備事業

ア 災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成

吉田町防災計画に基づき、町の要請により開設する災害ボランティアセンターの運営マニュアルを作成しました。

イ 地域連携の強化、安否確認、支援の仕組みづくり

(ア) 広域連携災害事業の実施

地域連携の強化に向け、近隣市町社会福祉協議会と協議
参加社協 6社協

(藤枝市、焼津市、島田市、牧之原市、川根本町、吉田町)

(イ) 災害ボランティアセンター立上げ訓練職員派遣による連携

社会福祉法人島田市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターの立上げ訓練に当協議会職員が参加し連携を図りました。

ウ 防災、減災に向けた地域自助力の強化、取組の支援

支援力の強化を図るため、担当職員のスキル向上に努めました。
災害ボランティアコーディネータースキルアップ講座 受講3人
地域防災指導員の養成講座 受講1人

(3) ボランティアセンターの充実

ア 地域の支え合い活動応援ブックの作成

通いの場やサロン活動を広く周知するため、町との協働により、活動のPR冊子を作成しました。

イ ニーズに沿ったボランティア講座の実施

第1回 ボランティア交流会 参加34人

第2回 男性の居場所づくり講座 参加14人

ウ 既存ボランティアへの支援・連携の強化

(ア) ボランティア相談件数 29件

(イ) 個人登録ボランティア数 34人（新規登録2人、登録抹消2人）

(ウ) 当協議会登録ボランティアへのボランティア機会の紹介

広報回数延べ280回、延べ29人がボランティア活動へ参加しました。

エ 地域資源の開発

新規のボランティア活動の場として、いきいきサロン東浜の立ち上げを支援しました。

- (4) 生活困窮者自立相談支援事業の強化
 - ア 緊急食糧支援事業の実施
 - (ア) 当協議会独自の緊急食糧支援開始 利用世帯数 15世帯
 - (イ) 食品回収ボックスの常設
 - (ウ) フードバンク事業の活用
 - イ 日常生活用品貸与事業の実施
 - 就労等の自立支援に必要な自転車等を貸与物品として整備しました。
 - ウ 緊急シェルター事業の検討
 - 緊急シェルター事業の検討のための協議 6回
 - 住居喪失防止のため、早期相談対応への理解を深めることを目的に、町内不動産取扱企業10社に対して、生活困窮事業者自立相談支援に関するチラシを配布し、広報に努めました。
- (5) 共同募金活用事業の充実
 - ア 職域募金の開発 1件(静岡県立吉田特別支援学校教職員)
 - イ 地域課題解決型募金への取組
 - 共同募金依頼時にチラシを配布しました。
 - ウ 新たな募金ツールの開発
 - (ア) 募金型の自動販売機設置に係る情報を収集しました。
 - (イ) 新規団体へ設置の検討を依頼しました。
 - エ 街頭募金への取組の強化
 - 町内行事における街頭募金の実施を検討し、次年度につなげました。

2 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

(1) 組織体制の強化

ア 組織体制の整備

組織体制を見直し、規程の改正等、整備を進めました。

イ 事業運営の効率化や質の高い福祉サービスの提供を目指し、職員の資質向上に努めました。

(ア) 研修会等への参加 16回

(イ) 事例検討会、情報交換会への参加 8回

(ウ) 中部地区社協事務研究部会への参加 5回

(エ) 部門長・責任者会議 12回

(2) 執行機関、事務局運営

ア 理事会の開催 6回

<開催状況>

第1回理事会（平成29年4月1日）

出席9人／理事総数10人

議案

第1号議案 会長、副会長、常務理事等の選任について

第2号議案 役員等賠償補償の加入について

第2回理事会（平成29年5月29日）

出席9人／理事総数10人

議案

第1号議案 平成28年度事業報告について

第2号議案 平成28年度決算報告について

第3号議案 平成28年度吉田町共同募金委員会事業報告について

第4号議案 平成28年度吉田町共同募金委員会会計決算報告について

第5号議案 平成29年度会計第1次補正予算について

第6号議案 給与規程の一部変更について

第7号議案 評議員選任・解任委員会にて決定した評議員の異動に伴う
新評議員候補の推薦について

第8号議案 定時評議員会の開催について

第3回理事会（平成29年6月15日）

出席8人／理事総数10人

議案

第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について

第2号議案 第三者委員の選任について

報告事項

第1号報告 評議員の選任について

第4回理事会（平成29年11月22日みなし決議）

書面決議 同意 10 人/理事総数 10 人

議 案

第1号議案 定時評議員会の開催について

第5回理事会（平成29年12月22日）

出席 9 人/理事総数10人

議 案

第1号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会副会長の選定について

第2号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会事務局規程の全部を改正する規程の制定について

第3号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会就業規程の全部を改正する規程の制定について

第4号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の全部を改正する規程の制定について

第5号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会経理規程の一部改正について

第6号議案 平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会表彰状受賞者の選考について

報告事項

第1号報告 平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会中間監査結果について

第6回理事会（平成30年3月5日）

出席 9 人/理事総数10人

議 案

第1号議案 平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会第2次補予算について

第2号議案 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会事業計画について

第3号議案 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会当初予算について

第4号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会職員給与規程の全部を改正する規程の制定について

第5号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会第三者委員の選任について

第6号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会定時評議員会の開催について

イ 評議員会の開催 3回

<開催状況>

第1回評議員会（平成29年6月15日）

出席12人／評議員総数13人

議 案

第1号議案 平成28年度事業報告について

第2号議案 平成28年度会計決算報告について

第3号議案 平成29年度会計第1次補正予算について

第4号議案 理事及び監事の選任について

報告事項

第1号報告 平成28年度吉田町共同募金委員会事業報告について

第2号報告 平成28年度吉田町共同募金委員会会計決算報告について

第3号報告 職員給与規程の一部変更について

第2回評議員会（平成29年12月6日みなし決議）

書面決議 同意13人／評議員総数13人

議 案

第1号議案 理事の選任について

第3回評議員会（平成30年3月22日）

出席9人／評議員総数13人

議 案

第1号議案 平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会第2次補正予算について

第2号議案 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会事業計画について

第3号議案 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会当初予算について

報告事項

第1号報告 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会副会長の選定について

第2号報告 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会諸規程の改正について

第3号報告 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会第三者委員の選任について

ウ 評議員選任・解任委員会の開催 1回

<開催状況>

第1回評議員選任・解任委員会（平成29年6月1日）

出席3人／評議員選任・解任委員総数4人

議 案

第1号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会評議員の選任について

エ 監事監査の実施 3回

<開催状況>

共同募金委員会決算監査（平成29年4月21日）

出席2人／監事総数2人

監査内容

- 1 平成28年度事業の執行状況
- 2 平成28年度財産の状況（共同募金委員会会計）

社会福祉協議会決算監査（平成29年5月17日）

出席2人／監事総数2人

監査内容

- 1 平成28年度業務監査
- 2 平成28年度会計監査

社会福祉協議会中間監査（平成29年12月1日）

出席2人／監事総数2人

監査内容

- 1 平成29年度中間業務監査
- 2 平成29年度中間会計監査

3 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

(1) 福祉体験学習のサポート

町内の小学校3校、全12講座を実施しました。

ア 体験学習内容

回	実施日	対象 参加人数	内容
1	平成29年6月1日	自彊小4年生 78人	福祉講話とアイマスク体験
2	平成29年6月30日	自彊小4年生 78人	盲導犬体験
3	平成29年7月12日	自彊小4年生 78人	手話教室
4	平成29年10月31日	住吉小4年生 85人	アイマスク体験
5	平成29年11月7日	住吉小4年生 85人	点字教室
6	平成29年11月9日	中央小2年生 124人	まちたんけん
7	平成29年11月14日	住吉小4年生 85人	手話教室
8	平成29年11月28日	住吉小4年生 85人	高齢者疑似体験
9	平成29年12月7日	中央小5年生 153人	車いす体験教室
10	平成29年12月12日	住吉小4年生 85人	車いす体験
11	平成30年1月23日 平成30年1月30日	中央小4年生 120人	手話講座
12	平成30年2月6日 平成30年2月13日	中央小3年生 120人	点字教室

イ 参加児童の感想（抜粋）

- ・隣に人がいるだけで安心した。肩を叩いて教えてくれたのでよくわかった。
（高齢者疑似体験）
- ・階段の手すりがあると歩きやすかった。手すりのない階段や、ちょっとした段差が怖かった。（アイマスク体験）
- ・いろいろな道具があって、障害のある人を助けていることを知った。（手話講座）

ウ 福祉体験学習サポート実績

事業名	福祉体験学習	
平成28年度	実施数(回)	11
	延参加人数(人)	1,091
平成29年度	実施数(回)	12
	延参加人数(人)	1,176

(2) 人材育成

ア 小学生を対象とした学習プログラム

町内小学校の4年生、5年生、6年生を対象に盲導犬育成施設見学を実施し、盲導犬を通じて、福祉について興味関心を持つきっかけ作りをしました。

(ア) 参加児童の感想等(抜粋)

- ・盲導犬の実演では、段差や障害物がある時どのようにしているかがわかりました。盲導犬を一人前にするのにたくさんの訓練が必要なんだと、はじめて知りました。
- ・パートナーを守ろうとする盲導犬は、すごいなと思いました。施設の人でも盲導犬のことをすごく気にかけていました。

(イ) 参加の動機 アンケート回答23人(※複数回答)

- ・福祉のことを知りたかった 14人
- ・盲導犬に関心があった 6人
- ・身近に盲導犬ユーザーがいる 1人
- ・身近に視覚障害のある人がいる 1人
- ・その他 8人(友達に誘われた等)

(ロ) 盲導犬育成施設見学事業実績

事業名	盲導犬の里 富士ハーネスへ行こう!	
平成28年度	訪問場所	日本盲導犬総合センター 盲導犬の里富士ハーネス(静岡県富士宮市)
	実施日	平成28年8月5日
	参加人数	30人
平成29年度	訪問場所	日本盲導犬総合センター 盲導犬の里富士ハーネス(静岡県富士宮市)
	実施日	平成29年8月4日
	参加人数	23人

イ 中学生以上を対象とした学習プログラム

ふくしのまちづくりボランティア講座では、サロンや通いの場に、男性参加者の少ないという地域の課題を取り上げ、男性の地域参加しやすい居場所づくりをテーマに講座を開催しました。

(ア) 夏のチャレンジ福祉を楽しもう！

中学校2年生以上を対象に町内中学校のほか、近隣の高等学校、町内公共施設での周知を行いました。

学生の夏休み期間中に、福祉施設でのボランティア体験を企画し、活動機会を提供しました。

a 参加者の感想（抜粋）

- ・最初は、自分から利用者さんと話すことができなかつたけど、徐々に自分から話しかけられるようになりました。たくさんの人から声をかけられ嬉しかったです。
- ・施設に行くことが初めてで参加前は不安もありましたが、楽しい時間を過ごすことができ、多くの学びも得られました。

b 福祉施設体験事業実績

事業名	夏のチャレンジ福祉を楽しもう！	
平成28年度	活動場所	住吉杉の子園、片岡杉の子園、ひまわりの家
	実施日	事前学習 7月25日、26日、28日 活動日 8月中の活動希望日
	参加人数	中学生2人、高校生3人
平成29年度	訪問場所	住吉杉の子園、片岡杉の子園
	実施日	事前学習 7月24日、25日 活動日 8月中の活動希望日
	参加人数	中学生4人

(イ) サマーショートボランティア

静岡県ボランティア協会と共同開催し、町内の保育園、福祉施設での体験をサポートしました。

a 参加者の感想等

- ・人と接することが好きで、将来の職業の候補として参加しました。子どもとのふれあいや、午後の事務作業等、保育士の仕事について学ぶことができました。
- ・子どもの笑顔に元気をもらい、保育士の仕事に、より興味を持つことができました。

- ・急に泣き出したり、喧嘩をしたり、皆がそれぞれのことを話した際など対応の難しさを感じました。先生の大変さを知るとともに、上手に対応する先生を改めてすごいなと思いました。

b サマーショートボランティア実績

事業名	サマーショートボランティア	
平成28年度	活動場所	わかば保育園、さくら保育園、さゆり保育園、すみれ保育園、はあとふる、住吉杉の子園
	実施日	8月中の活動希望日
	参加人数	高校生19人、中学生2人
平成29年度	訪問場所	わかば保育園、さくら保育園、さゆり保育園、すみれ保育園、住吉杉の子園
	実施日	8月中の活動希望日
	参加人数	高校生15人、中学生7人

(ウ) ふくしのまちづくりボランティア講座 全2回

町民に対してボランティア活動を促し、福祉活動の充実を図ることを目的として実施しました。

a 参加者の感想

- ・講師の活動紹介が具体的で大変参考になった。
「もうひとつの家」の活動は素晴らしく吉田町にも必要だと思った。
- ・ボランティア活動へのやる気が出てきた。一緒に活動できる仲間を見つきたいと思った。
- ・これからボランティア活動を始めたいと思っている方にも受けてほしいかった。
- ・男性の参加しやすい場づくりは大変だと感じた。
- ・いろいろな趣味や身体の状態に適した居場所が必要だと思う。
- ・気軽に参加できることが大事。

b ふくしのまちづくりボランティア講座実績

事業名	ふくしのまちづくりボランティア講座	
平成28年度	開催場所	吉田町健康福祉センターはあとふる
	実施日	第1回 平成28年9月27日 第2回 平成29年2月14日
	実施内容	第1回 講話 第1部 「ボランティアの魅力と生活支援コーディネーターについて」 第2部 「吉田町の現状等について」 第2回 居場所・サロン・介護予防ボランティア講座
	参加人数	第1回 26人、第2回 43人
平成29年度	開催場所	吉田町健康福祉センターはあとふる
	実施日	第1回 平成30年1月31日 第2回 平成30年2月28日
	実施内容	第1回 ボランティア交流会 講師 もうひとつの家 稲葉ゆり子氏 第2回 男性の居場所づくり講座 講話 「男性の地域参加しやすい居場所づくりについて考える」 講師 西益津いきいきランド 青木喜男氏、尾原國仁氏、 村松巖氏
	参加人数	第1回 34人、第2回 14人
	<p>ボランティア活動者同士のネットワークづくりとボランティア活動意欲の向上及び地域課題でもある男性の参加しやすい居場所づくりについての講座を実施しました。</p> <p>第1回の交流会では、他市の活動紹介を具体的に行い意欲向上に効果がありました。ボランティア活動者同士のネットワークづくり及び活動者の意欲向上をテーマとした講座でしたが、さらなるボランティア活動を始めるきっかけにつながる講座となりました。</p> <p>第2回講座では、6人の男性参加者から、「麻雀であればやりたい」、「将棋以外はやりたくない」、「バンド活動したい」など、具体的にやってみたい活動について意見が出され、今後、実際に新しい居場所の立上げを実施していくに当たり、ニーズの一部を知る講座となりました。</p>	

4 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

(1) 情報発信

ア 広報紙の発行

(ア) 社協だよりの発行 年6回 1回につき8,000部

(イ) センターだよりの発行 年12回 1回につき1,350部

イ ホームページの開設

(2) ふれあい広場の開催

ア 実行委員会の開催 2回

イ 第35回吉田町ふれあい広場 台風のため中止

(3) 吉田町社会福祉協議会表彰式の開催

開催日 平成30年2月16日 受賞者14人

(4) 社会を明るくする運動の啓発

7月の推進月間に、町内の自治会、保護司会、更生保護女性会、町内サロン、ほっとステーション、趣味クラブ等と協力し、周知に努めました。

(5) 福祉団体等の運営支援

次の福祉団体等に対し、組織の事業運営を支援するため、活動費に対し、助成しました。

ア 福祉団体 8団体

身体障害者福祉会・母子寡婦福祉会・遺族会・手をつなぐ育成会・子ども会育成連合会・榛南断酒会吉田支部・精神保健福祉会秋桜・さわやかクラブ連合会

イ その他の団体 6団体

人権擁護委員・行政相談員・更生保護女性会・榛原地区保護司会・保護司会・傾聴ボランティアグループ心音

(6) 共同募金配分金の地域還元（助成事業）

住民が主体的に行う福祉活動の充実を図るため、共同募金配分金からの事業費を拡大し、活動に対して助成しました。

助成実績

種 別	交付実績	
	平成29年度	平成28年度
共同募金配分金地域活動費交付事業	4団体 延 6事業	3団体 延 6事業
いきいきサロン活動助成金交付事業	6団体	5団体
福祉教育活動支援金交付事業	小学校3校 延 12事業	小学校3校 延 11事業
平成29年度は、積極的な広報により、2件の新規団体から問い合わせがあり、1件について年度内に交付しました。		

(7) 歳末慰問事業（歳末たすけあい募金・歳末慰問事業）

事業実績

事業名		平成29年度	平成28年度
歳末たすけあい募金（円）		1,548,881	1,637,604
歳末慰問事業	施設慰問数（件）	33	32
	世帯慰問（世帯）	82	95

5 1から3のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動相談窓口を設置し、相談や要望対応、人材育成及び登録をすることにより、住民の福祉活動の促進及び活動支援に努めました。

運営実績

		平成 29 年度	平成 28 年度
相談対応(件)	団体活動	15	33
	個人活動	6	7
	人材要望	8 (6 団体)	11 (7 団体)
	人材要望マッチング	10	10
ボランティア登録者数(人)	個人登録者	34	34
	給食サービス	53	52
	ガイドボランティア	13	10
	高齢者移動支援	6	6
	はっらっ講座	34	27
	パワーリハビリ	5	7
保険	加入実績	団体 39 個人 4 延 7,008	団体 39 個人 6 延 6,034

6 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡

(1) ネットワークの構築及び団体活動の支援体制の強化

ア ネットワークの構築

地域でのネットワークの充実を図り、地域密着型の福祉活動の展開に努めました。

(7) 吉田町民生委員児童委員協議会との連携

- a 民生委員児童委員協議会定例会への参加 12回
- b 民生委員児童委員協議会運営委員会への参加 12回
- c 給食サービス事業における連携 12回
- d 心配ごと相談事業を通じた連携 24回
- e 赤い羽根共同募金運動における連携（企業訪問）
- f 歳末慰問事業における連携（在宅慰問）

(4) 住民組織との事業連携

- a 社協会費納入依頼（一般会費・賛助会費）

社協会費集計実績

	平成29年度	平成28年度	昨年度対比(%)
納 入 金 額(円)	3,504,000	3,526,500	99.4
世 帯 数(戸)	7,714	7,708	100.1
納 入 世 帯 数(戸)	7,008	7,053	99.4
納 入 率(%)	90.8	91.5	
賛助会費納入金額(円)	1,505,000	1,598,000	94.2
賛助会員登録数(社) (新規含む)	403	399	101.0
納 入 者 数(社) (非会員含む)	285	288	99.0
納 入 率(%)	70.7	72.2	

- b 社会を明るくする運動広報啓発活動（7月）
自治会へ懸垂幕、立旗・立哨等啓発の依頼
- c 赤い羽根共同募金運動（10月～12月）
自治会へ募金運動の協力依頼
- d 歳末たすけあい募金運動（12月）
自治会へ募金運動の協力依頼
- e 社協だよりの配布（町内約8,000世帯に6回配布）

(f) 教育機関との連携

訪問介護事業所 実習生受入れ実績

	学校名	人数	延受入日数	内容
1	静岡県立 清流館高校	6	12	訪問介護実習
2	静岡福祉大学	6	12	訪問介護実習

デイサービスセンターはあとふる実習生等の受入れ実績

	学校名等	人数	延受入日数	内容
1	静岡県立 清流館高校	3	27	介護実習
2	吉田町立 吉田中学校	2	6	介護実習
3	学校教職員	7	7	教職員初任者研修

イ 地域活動ネットワークの構築

(7) いきいきサロンボランティア連絡会 1回

(4) 社会を明るくする運動啓発による各団体との連携

ウ 組織化及び運営支援

サロン活動支援（8団体）

活動支援サロン一覧

	区分	団体名
1	いきいきサロン (高齢者)	・片岡なごやかクラブ ・西浜つくしの会 ・新田りんどうの会 ・いきいきサロンかわしり ・北区茶の実会 ・いきいきサロン東浜
2	精神保健サロン	・ほっとサロン「くるさ」
3	子育て支援サロン	・ほっとステーション

エ 地域福祉の推進

中部地区社会福祉協議会事務研究部会への参加 5回

県や県社会福祉協議会が行う「地域づくり」をテーマとした研修に社協職員が参加し、先進事例研究や情報交換を行うほか、サロンや通いの場等の活動の場に出向き、情報交換等により町内の地区状況の把握に努めました。

7 共同募金事業への協力

(1) 募金運動

町内各世帯や学校に募金の協力を呼び掛けるほか、町内の事業所に対して訪問等により協力を呼び掛けました。

募金活動実績

年 度	平成 29 年度		平成 28 年度		昨年度対比(%) (納入額)
	納入額 (円)	納入数	納入額 (円)	納入数	
一般募金(世帯)	1,742,250	6,969	1,763,750	7,055	98.8
住吉	642,500	2,570	649,250	2,597	99.0
川尻	332,250	1,329	345,500	1,382	96.2
片岡	347,250	1,389	345,750	1,383	100.4
北区	420,250	1,681	423,250	1,693	99.3
法人募金(社)	831,000	239	810,560	243	102.5
協力企業	660,000	197	684,560	208	96.4
新規企業	171,000	42	126,000	35	135.7
学校募金(校)	45,859	4	50,250	4	91.3
住吉小学校	10,940		11,759		93.0
中央小学校	10,555		8,531		123.7
自彊小学校	15,161		11,491		131.9
吉田中学校	9,203		18,469		49.8
その他	25,339		7,506		337.6
合 計	2,644,448	—	2,632,066	—	100.5

(2) 配分金の活用

地域活動費交付事業、いきいきサロン助成金のほか、給食サービスの実施、単身高齢者交流会の開催、福祉施設体験や、学校での福祉教育実施等に活用しました。

(3) 災害義援金への協力

- ・ 福岡県域大雨
- ・ 大分県豪雨
- ・ 秋田県大雨
- ・ 三重県台風21号
- ・ 和歌山県台風21号
- ・ 熊本地震

8 居宅介護支援事業の経営

(1) 事業内容

介護支援専門員(ケアマネジャー)による介護保険認定者へのケアプラン作成及び相談支援並びにケアプラン作成に伴う担当者会議の開催(対象者に対し年1回以上)。

(2) 計画受入数及び事業収入の推移

年度	ケアマネ数	計画件数(件)		合計 (月平均)	事業収入(円)
		要介護 (月平均)	要支援 (月平均)		
28	4.2	1,316 (109.7)	324 (27.0)	1,640 (136.7)	21,242,280
29	3.2	1,223 (101.9)	267 (22.3)	1,490 (124.2)	19,052,800

9 老人デイサービス事業の経営

(1) 事業内容

デイサービスセンターはあとふるの開設

(2) 実施状況及び事業収入の推移

事業実績

年度	開設日数	利用者数(人)	1日平均 利用者数(人)	事業収入(円)
28	308	6,539	21.2	55,487,247
29	308	6,761	22.0	56,935,638

(3) 介護度別利用状況

介護度別利用割合 (%)

年 度	事業 対象 者	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	計
28		6.8	15.7	36.0	17.4	13.0	6.9	4.2	100.0
29	6.3	6.5	12.3	34.8	11.0	18.0	7.3	3.8	100.0

10 地域包括支援センターの経営

(1) 事業内容

ア 包括的支援事業

(7) 地域包括支援センター業務推進体制

推進体制強化のため、月1回のカンファレンスを実施、面接による各職員の担当業務の進捗状況の確認等を実施しました。

- a 業務計画の作成
- b 業務管理
- c 情報管理
- d 実践力の向上
- e メンタルヘルスサポート

(4) 総合相談

地区ごとに民生委員児童委員との意見交換会を実施しました。また、総合相談においては、専門職がケースの対応や担当について確認し、検討の結果を支援者に正しく伝えることに努めました。

- a 地域包括支援センター機能の周知
- b 高齢者の把握
- c 実態調査後の訪問
- d 継続的・専門的相談

(9) 地域での包括支援ネットワークづくり

見守りネットワーク協力事業所・町内のサロン・居場所等に出向き、地域包括支援センターが高齢者の相談窓口であることを紹介し、地域との連携作りにつとめました。また、生きがいデイサービスへの参加が困難になった方について、関係機関との連携とルール作りを実施しました。

- a 地域への包括支援センターの理解促進
- b 社会資源の把握と活動団体との連携
- c 関係機関とのネットワーク構築

(1) 権利擁護

市民後見・法人後見の必要性の判断のため、成年後見制度の相談で専門相談先につなげた事例を集積するほか、消費者被害の情報がいった際には、町内各事業所に情報提供し、注意喚起を行いました。

虐待対応として、コアメンバー会議及び評価会議において資料提出を行い適切に虐待判断がされるよう努めました。

- a 成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用
- b 消費者被害の防止
- c 虐待対応

- (f) 介護支援専門員個別支援相談業務
 - a 困難事例の相談対応
 - b サービス担当者会議への参加
 - c 研修会の開催
 - d ケアプラン作成指導
 - e 介護支援専門員ネットワークの構築
 - f 情報提供
 - g サービス事業所との連携
- (h) 包括的・継続的ケアマネジメント体制構築事業
 - a 介護支援専門員と関係機関との連携
 - b インフォーマルな情報の管理
- (k) 介護予防マネジメント
 - a 対象者把握
 - b アセスメント・目標設定・ケアプラン作成・モニタリング・評価
- (l) 地域ケア会議業務
 - a 環境整備
 - b 個別ケースの検討
 - c 地域課題の発見
 - d 資源の開発
 - e 政策の立案・提案
- イ 指定介護予防支援事業
予防給付マネジメント
 - (7) 計画作成
 - (i) サービス事業者との連携
 - (j) 業務の委託
- ウ 認知症総合相談事業
 - (7) 認知症初期集中支援推進事業
認知症早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築
 - (i) 認知症地域・ケア向上事業
 - a 認知症地域支援推進員を中心とした地域支援体制の構築
 - b 相談支援
- エ 介護予防普及啓発事業
 - a 認知症予防を目的としたはつらつ講座を行い、有酸素運動、脳トレ、脳レクを実施しました。
 - b 運動器の機能向上を中心とした介護予防の普及・啓発等を行うため、骨骨貯筋体操を行い、筋力を高めるためのトレーニングと、栄養講座の実施及び体力測定等を行いました。

オ 家族介護支援事業

家族介護者の支援を目的として介護者のつどいを開催し、介護者同士の交流会や介護に関する知識の普及のための教室を実施しました。

(2) 相談対応

相談対応実績

区分	平成 29 年度		平成 28 年度	
	相談内容	件数	相談内容	件数
相 継 談 続	要支援 1・2	1,582	要支援 1・2	1,122
	事業対象者	778		
総 合 相 談	在宅介護	1,537	在宅介護	1,400
	一般介護予防	7		
	総合相談 (その他)	14	二次予防事業 対象者把握及び支援	515
	施設入所	26	施設入所に係る相談	61
	権利擁護	44	権利擁護	81
	高齢者虐待	85	高齢者虐待	22
	ケアマネ支援 (ケアマネジメント)	162	ケアマネ支援	127
	ケアマネ支援 (その他)	45		
	その他	26	その他	40
合計	4,306	合計	3,368	

(3) 相談方法

相談方法及び実績

相談方法	延件数	内訳	
		継続相談	総合相談
電 話	1,542	579	963
来 所	429	53	376
訪 問	2,244	1,712	532
その他	91	16	75
合 計	4,306	2,360	1,946

(4) 相談経路

総合相談における相談経路の状況

経路	延件数
本人	355
家族	792
介護支援専門員	372
民生委員児童委員	59
サービス事業所	88
医療機関	82
地域住民	28
吉田町役場	131
見守りネットワーク	2
その他	37
合計	1,946

(5) 地区別相談割合

総合相談における地区別相談割合の状況 (%)

地区名	住吉	川尻	片岡	北区
相談割合	42	24	13	21

(6) その他の活動状況

平成 29 年度		平成 28 年度	
内容	回数	内容	回数
ケアマネの会 (吉田町)	14	ケアマネの会 (吉田町)	15
ケアマネ連絡会 (吉田・牧之原)	4	ケアマネ連絡会 (吉田・牧之原)	5
ケアマネ勉強会	2	ケアマネ勉強会	4
広報活動	17	広報活動	21
定例民生委員児童委員協議会への出席	10	定例民生委員児童委員協議会への出席	12
地域ケア会議	7	地域ケア会議	4
包括内カンファレンス	10	包括内カンファレンス	6
関係機関等との打合せ	77	関係機関等との打合せ	47
職員派遣	3	職員派遣	10
研修 (受講)	33	研修 (受講)	60
研修 (開催)	4	研修 (開催)	5
地域密着型運営推進会議	14	地域密着型運営推進会議	12
会議及び連絡会 (参加)	31	会議及び連絡会 (参加)	15

11 老人居宅介護等事業の経営

(1) 事業内容

訪問介護員(ホームヘルパー)による介護保険認定者への訪問介護を実施しました。

(2) 利用者数及び事業収入の推移

年度	要介護者数 (月平均)	要支援者数(人) (事業対象者含む) (月平均)	合計(人) (月平均)	事業収入(円)
28	259 (21.6)	210 (17.5)	469 (39.1)	17,559,976
29	297 (24.8)	263 (21.9)	560 (46.7)	17,364,208

(3) 稼働時間数の推移

(時間)

年度	要介護者 (月平均)	要支援者 (事業対象者含む) (月平均)	合計 (月平均)
28	3,019 (251.6)	1,672 (139.3)	4,691 (390.9)
29	3,620 (301.7)	2,030 (169.2)	5,650 (470.8)

12 障害福祉サービス事業の経営

(1) 事業内容

ア 居宅介護支援事業

訪問介護員(ホームヘルパー)による、障害の認定を受け居宅において支援を必要とする方への訪問介護を実施しました。

居宅介護支援事業の利用者数及び事業収入の推移

年度	利用人数(人)	月平均(人)	事業収入(円)
28	263	21.9	9,729,916
29	246	20.5	8,443,834

イ 重度訪問介護事業

訪問介護員(ホームヘルパー)による、重度の障害を有する方の訪問介護については、利用者はありませんでした。

13 移動支援事業の経営

(1) 対象者

視覚障害により、移動に困難を有する方と、知的障害又は精神障害により、行動上困難を有する方を対象に事業を実施しました。

(2) 移動支援事業利用者数及び事業収入の推移

年度	利用人数(人)	月平均(人)	事業収入(円)
28	159	13.3	2,017,507
29	180	15.0	1,956,219

14 地域支援事業の経営

在宅高齢者の健康増進、閉じこもり予防を図る事業を実施したほか、介護者の負担軽減を図り、リフレッシュにつながる事業を実施しました。

(1) 一般介護予防事業

ア 認知症予防事業

はつらつ講座実績

年度	延参加人数(人)	回数等
28	1,254	町内8カ所、開講数延 91回
29	1,412	町内9カ所、開講数延 105回

イ 介護予防普及啓発事業 (骨骨貯筋体操教室)

骨骨貯筋体操教室実績

年度	延参加人数(人)	回数等
28	616	4教室 (各10回、延40回)
29	383	4教室 (各10回、延40回)

ウ 運動器の機能向上事業 (パワーリハビリ教室)

パワーリハビリ教室実績

(人)

年度	延参加人数	実人数
28	533	27
29	411	31

(2) 外出支援サービス

パワーリハビリ教室参加者の送迎実績 (人)

年度	延参加人数	実人数
28	266	13
29	131	10

(3) 家族介護支援事業(公益を目的とする事業)

介護者のつどい実績

年度	事業内容	延参加人数	回数
28	家族介護教室事業	47	3
	家族介護交流事業	19	3
29	家族介護教室事業	49	3
	家族介護交流事業	33	3

(4) 産前産後サポート事業

ア 対象者

訪問介護員(ホームヘルパー)による支援が、必要と判断された妊婦及びおおむね1年までの産婦と児。

イ 実施状況

町健康づくり課から保健師を講師に招き、沐浴、授乳の仕方等を研修し、準備をしましたが、今年度は利用がありませんでした。

15 福祉相談事業

(1) 心配ごと相談

月2回相談所を開設し、住民が抱える生活の不安に対し、弁護士、人権擁護委員、行政相談員、民生委員児童委員が相談員として対応しました。

心配ごと相談実績

		平成29年度	平成28年度
開 催 数 (回)		24	24
相 談 延 件 数 (件)		35	37
	相談内容	借 金 6 (17.1%) 財 産 6 (17.1%) 離 婚 5 (14.3%) その他 18 (51.4%) (借地の管理、雇用、年金、詐欺、交通事故等)	借 金 4 (10.8%) 財 産 11 (29.7%) 離 婚 4 (10.8%) 家 族 5 (13.5%) 生 計 3 (8.1%) その他 10 (27.0%) (交通事故、契約等)

(2) 援護事業

単身生活上の不安の軽減を図るほか、福祉用具等の貸出し等を行い、介護負担の軽減及び個別ニーズの解消に努めました。

ア 福祉用具等の貸出

福祉用具等貸出実績

事業内容			平成29年度	平成28年度	
1	車いす貸出事業	短期貸出	利用者数(人)	61	56
			延貸出数(台)	96	90
		長期貸出	利用者数(人)	8	7
			延貸出数(台)	8	7
2	小型リフト車貸出	利用者数(人)	53	46	
		延貸出数(回)	68	58	

イ ひとり暮らし高齢者の見守り

- (7) 給食サービス 実人数 88人、配食回数 年12回
- (4) 緊急通報装置設置事業 設置件数 36件
- (6) 交流会（お楽しみバス旅行）

ひとり暮らし高齢者の閉じこもりを防止するため外出する機会を創出するとともに、他者との交流の場を提供することを目的に事業を実施しました。

a 参加者の様子等

- ・例年この外出機会を楽しみにしている方、今回が初めての参加であった方等、それぞれ当日を心待ちにしていました。当日は笑顔や会話が多くみられ、楽しんでいる様子でした。
- ・より多くの方に参加機会を設けるために、過去の参加状況に応じて参加者を決定したことにより、新規参加者が多く見られました。

b 参加状況

交流会（お楽しみバス旅行）実績

事業名	ひとり暮らし高齢者バス旅行	
平成28年度	訪問場所	可睡斎、掛川道の駅、大塚製薬工場見学
	実施日	平成28年10月4日
	参加人数	40人 当事者33人、ボランティア等4人、職員3人
平成29年度	訪問場所	エアパーク、さかな家物産店、ニコエ
	実施日	平成29年10月5日
	参加人数	40人 当事者30人、ボランティア等7人、職員3人

- (3) 生活福祉資金貸付事業（静岡県社会福祉協議会取扱い）
福祉資金貸付事業による低所得世帯等の更生支援に努めました。

相談対応数 (件)

事業内容		事業実績		
		平成 29 年度	平成 28 年度	
1	生活福祉資金貸付事業	新規相談対応	81	53
		申請	8	15
		貸付決定	8	13
		不承認	0	1
		取下げ	1	0
2	臨時特例つなぎ資金貸付事業	相談対応	0	0

- (4) 生活困窮者自立相談支援事業

「生活支援・相談センター」を設置し、個別相談に対応しました。

延べ相談対応件数 292件(平成28年度実績 289 件)

新規相談対応実績 (世帯)

対応内容	世帯数（重複世帯有）	
	平成 29 年度	平成 28 年度
情報提供・相談のみ	19	15
他機関へつなぐ	7	9
プランを作成	10	9
中断終了	5	2
住居確保給付金	2	6
福祉資金	3	7
就労支援事業	8	4
合計	54	52
実世帯数	45	33

新規相談件数は増加傾向にあり、貸付相談から生活困窮者自立支援事業の相談対応へとつなぐケースも多くありました。

生活困窮相談を希望しない方、周りの関係者は困っているが当事者に困った感のない方、就労意欲の維持が難しい方等、相談支援対応が長期継続するケースが増加しました。

16 善意銀行貸付事業

世帯更生支援相談 64件 貸付件数 0件

生活の改善を望む住民に対し、福祉資金の貸付事業を活用するほか、福祉施策の利用につなげる等、世帯の自立更生支援に努めました。

17 吉田町老人福祉センター経営

- (1) 巡回マイクロバスの運行 毎週2回（火曜日・金曜日）
- (2) 若返り会の開催 6回
- (3) 健康体操教室 15回
- (4) 趣味クラブへの支援（随時）
- (5) さわやかクラブへの支援（随時）

平成28年度老人福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
和室(3室)	168	199	158	147	147	196	174	200	156	203	170	151	2,069
大広間	515	491	440	491	440	463	457	469	375	541	376	470	5,528
浴室	80	71	73	82	81	83	72	76	57	61	69	76	881
リラックスルーム	535	549	587	565	600	562	533	538	427	452	471	535	6,354
月計	1,298	1,310	1,258	1,285	1,268	1,304	1,236	1,283	1,015	1,257	1,086	1,232	14,832

平成29年度老人福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
和室(3室)	150	188	159	174	155	155	172	212	175	187	145	194	2,066
大広間	429	499	493	539	420	389	418	508	418	532	422	456	5,523
浴室	76	79	87	75	88	74	76	79	78	60	61	55	888
リラックスルーム	502	540	602	558	551	551	532	502	472	467	490	508	6,275
月計	1,157	1,306	1,341	1,346	1,214	1,169	1,198	1,301	1,143	1,246	1,118	1,213	14,752

18 福祉サービス利用援助事業

適切な福祉サービスを利用できるよう手続き援助を行うほか、金銭管理の援助を行うなど、生活支援員とともに利用者の日常生活を支えました。

支援実績

支援活動内容	実施回数	
	平成29年度	平成28年度
利用者数(人)	5	5
利用者支援会議への参加(回)	3	3
訪問支援(回)	77	78

19 その他この法人の目的達成のため必要な事業

(1) 高齢者移動支援事業

自力では外出が困難である高齢者に対し、運転ボランティアの協力の下、通院等の送迎を行い、外出支援に努めました。

事業実績

年度	利用登録者数(人)	延利用件数(件)
平成 28 年度	19	50
平成 29 年度	19	51

(2) 生活支援コーディネーター事業

ア 生活支援コーディネート機能

(件)

年度	活動団体支援	ボランティア相談数	マッチング件数
平成 28 年度	33	40	10
平成 29 年度	20	30	10

(ア) 支援体制の把握

町内の地域活動に参加して支援を実施しました。

地域活動への参加 15回

(イ) 不足するサービス及び支援の創出

不足するサービスについての協議体に参加し、課題の把握に努めました。

イ サービス及び支援の担い手の養成

(ア) ボランティア講座の開催 2回

第1回 ボランティア交流会 参加34人

第2回 男性の居場所づくり講座 参加14人

ウ 元気な高齢者等が担い手として活躍する場の確保

(ア) 社会福祉協議会登録個人ボランティアへの広報

広報回数 延べ280回 ボランティア参加 延べ29人

(イ) 社協ボックスの継続設置による周知・広報

(ウ) 地域支え合い活動応援ブックによる広報

エ ネットワークの機能

(ア) 関係機関との情報共有

(イ) サービス提供主体間の連携体制づくり

(ウ) 地域の支え合い活動応援ブックの作成に伴う団体との連携

20 公益を目的とする事業

(1) 在宅介護者家族交流事業の経営

家族介護教室事業 3回

家族介護交流事業 3回

(2) 吉田町健康福祉センターの経営

健康福祉センターの指定管理事業を受託し、施設の管理維持に努めました。

平成28年度健康福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
ミーティングルーム	356	353	445	381	281	438	374	380	333	298	349	415	4,403
プレイルーム	218	131	197	241	155	211	210	155	183	154	188	165	2,208
生きがい工房	151	252	307	327	283	334	348	252	375	314	304	148	3,395
ボランティアビューロー	328	309	363	334	284	300	273	266	257	283	276	249	3,522
研修室	957	682	773	553	550	617	631	760	869	480	607	856	8,335
会議室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月計	2,010	1,727	2,085	1,836	1,553	1,900	1,836	1,813	2,017	1,529	1,724	1,833	21,863

平成29年度健康福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
ミーティングルーム	370	321	436	361	369	419	325	429	447	289	330	425	4,521
プレイルーム	111	116	195	158	170	214	115	215	201	80	134	138	1,847
生きがい工房	219	222	294	325	302	305	250	287	396	285	328	239	3,452
ボランティアビューロー	250	206	254	303	260	259	255	264	217	227	191	231	2,917
研修室	824	813	859	716	699	838	847	733	845	436	644	1,077	9,331
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月計	1,774	1,678	2,038	1,863	1,800	2,035	1,792	1,928	2,106	1,317	1,627	2,110	22,068